

「共に育つ」

PTA会長 瀬木 順子

日頃からPTA活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

また、PTA総会、大学見学会、保護者懇談会には、お忙しい中、多数の皆様にご出席いただき誠に有難うございました。

PTA活動の目的は、学校と保護者が協力し「子供たちの生きる力を育成し、豊かな心を育む」ことです。小牧南高校は、校長先生を始め先生方が子供たちの可能性を信じ、情熱を傾けご指導して下さっております。私たち保護者も子供たちを見守り、寄り添いながら、家庭教育に力を注いでいきたいと思っております。

青年期である子供たちは、心身ともに大人に成長する大事な時です。自分自身を見つめるようになり、急に親離れをはじめ、これまでと違った価値観を身につけ始めます。「青年期とは親にとっても、自分の生き方を見つめ直し、子どもと一緒に成長できる転機であり、改めて家族の絆を強くする好機である。青年期の反抗の意味は、高まりゆくエネルギーをぶつけ、親の愛情を体当たりで試している側面がある」といわれます。私たち大人が、子供を信じ抜く勇気を持って耐える期間かもしれません。子供を一人の大人として認めること。命令や指示ではなく、本人に考えさせることが必要になってくる時期だと思います。そのような時期であるからこそ私たち親側からの日常的な挨拶、出掛ける前の声かけが大切だと思います。声をかけられることで、自分の存在が認められ、安心につながります。そして私たち自身が家庭を大切にしながら、笑顔のある生活を送っていくこと、また生き生きと何かに挑戦している姿を見せていくことが、親が子供にできる家庭教育であり、励ましなのではないでしょうか。

子供は自分を磨いてくれる大切な存在であり、「子育て」は「自分育て」ともいえるかもしれません。子も親も共に育つ「共育」に日々努力していきたいと思っております。

